



sousei akita

曹青秋田

秋田名「佛」 ～第10教区・福巖寺(栗谷副会長御自坊)の佛様～



「三十周年記念 仏法興隆花まつり

千僧法要」に参加して

広報部長 戸澤 広悦

去る四月二十六日、奈良市の華嚴宗大本山東大寺に於いて、全日本仏教青年会主催の「仏法興隆花まつり千僧法要」が厳修ごんしゆされました。秋

曹青からは菅原会長、赤石・栗谷両副会長、清水道広師、鈴木智之師、矢萩宗淳師、戸澤広悦の計七名が参加しました。また、山田俊哉師、現地でお会いできませんでしたが高柳龍哉師の両会員が、主催する側で法要円成のためご尽力なされておりました。

当日奈良は暖かく、奈良駅から徒歩で集合場所に向かうさなか、半そでが恋しくなるような初夏の陽気でした。

控え所となる「奈良春日野国際フォーラム」に到着後、法衣に着替え事前指導。その後、団体ごと大仏殿に向かうため整列。五百数名の僧侶が一同に行列のため整列する姿は圧巻でした。

スタートした行列は、多くの観光客や修学旅行生の眼差しの中、南

大門・中門をくぐり、三重県曹青「鼓司つづみ」の素晴らしい演奏の中、大仏殿内へ。

大仏殿法要は、大仏様の蓮華座れんげざを取り囲むような形で行われました。この場所は、普段人が立ち入れない場所とお聞きしました。貴重な体験に感動する中、約一時間に渡る法要が始まりました。法螺吹奏、雅楽演奏、拈香法語、開経偈、般若心経、転読、普門品偈、四弘誓願：厳かな雰囲気の中での法要は素晴らしいものでした。

大仏殿法要終了後、大仏殿院内参道に移動し、「世界平和を祈る大散華」が行われました。全員で三帰依文（パーリ語）、四弘誓願（読み下し）、普回向を唱和中に大仏殿唐破風より散華。唐破風から舞い落ちる沢山の散華の見事さ。一僧侶としてこの法要に参加出来たことを本当に有り難く思うと同時に、自分の日常生活を省み、僧侶としての自覚を新たにすることが出来ました。



この「大散華」の後記念撮影。記念撮影後に「アショカピラー宝前法要」がありましたが、他の会員諸師に御参加いただき、私は帰りの飛行機のため、参加を見送らせていただきました。

今回この大法要に参加させていただき、その良さ、素晴らしさを、一人でも多くの会員に知っていただけたらと思います。秋田からは



大阪伊丹空港まで飛行機が出ています。空港から大阪や奈良、京都方面にはリムジンバスがごさいいます。近鉄の奈良駅から東大寺までは徒歩で行くことが出来ます。法要後、近鉄奈良駅から大阪伊丹空港まで直通のリムジンバスがごさいいます。私は一泊二日に参加いたしました。今年の参加を見送った会員諸師のご参考になれば幸いです。

弁道会



六月十二日、福井県霊泉寺御住職・青森県忍山菩提寺院代、南直哉老師を講師にお迎えし、本年度の弁道会が執り行われました。

講題は今期秋曹青が掲げたテーマそのものである『出家を問う』とし、講義及び座談会の形式を採る長時間の催しとなりました。

前半は各時代に於ける僧侶の有りようや、僧団を取り巻いた環境などの学習に始まり、話題は次第にこれからの宗侶が直面する様々な懸案・課題に及びました。非常に現実的かつ先見性の高い師の言葉は、今後の時勢に対峙する私達の覚悟を問うもののように感じられました。

対して、後半全員で輪になっての座談会に移ると、参加者が感じた事や日々の生活で思い至った事などを投げ掛け、それに対しユーモア交じりに知見をお返し頂く、和やかな意見交換の場になりました。

先行きへの不安、いま必要なのはどんなアイデアか、更には自らの発心はいつであった・何であったろうかなど、参加者それぞれがいったん自己を顧みる機会ともなり、僧侶が担うべき社会的役割について、各々が思いを巡らす意義深い時間となりました。

(佐藤幸悦 記)

弁道会に随喜して

一教区 鱗勝院徒弟 三浦史道

南老師の講義に参加させて頂き、改めてこれからの寺院の在り方について深く考えることができました。目まぐるしく変わっていく現代において、その時代に合わせたお寺のあり方を模索していかないと、寺院や僧侶の存在意義すら危うい時代がやってくると思います。

全国的にも少子高齢化社会になっており、特に私たちが暮らす秋田県においては、若い方の都会への

流出による超高齢化社会になってきております。

お寺に関して言えば、人口減少に伴い檀信徒さま方の数が減っていく事と、これまでは生活に密着した身近な存在であったお寺が、ライフスタイルの変化に伴い、直接的な関わりを持てる場面も減ってきており、その存在感が希薄になってきているのが現実です。私たちはこれらの状況に危機感を持ち、何をすべきなのか見極め、よく考えるべきだと感じました。

老師も仰っていたように、まずは私たちが次の世代の僧侶が学習を深めることがとても重要な事であり、歴代の祖師様方が命をかけて伝えてきたこの教えを広め、そして次の世代へ繋いでいくことが使命であります。

私の師寮寺ではフェイスブックを活用しており、法要や境内の花の写真・坐禅会の案内などをアップしておりますが、月に一度の坐禅会にはインターネットを通じてご参加くださる方も増えて参りました。お寺の事を知って頂くきっかけとして、このようなメディアを用いた取り組みも行っております。

この先にどのような未来が待っているかはわかりませんが、脈々と受け継がれて来た教えを伝える僧

侶である我々には、今この時代を生きる私たちにしかできないことがあるはずですが、この先をしつかりと見据え、やるべきことをやっていかなくはと思います。



平成29年度 秋田県曹洞宗青年会収支決算書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

総収入	1,946,230
総支出	1,812,623
収支残高	133,607

次年度へ繰越

単位：円

収入の部

項 目	29 年度予算額	29 年度決算額	増 減	摘 要
1 会費	1,200,000	1,231,000	31,000	
1. 年会費	700,000	695,000	▲ 5,000	正会員 5,000×139 名
2. 賛助会費	500,000	536,000	36,000	
2 補助金	500,000	500,000	0	曹洞宗秋田県宗務所より
3 寄付金	1,000	10,000	9,000	祈りのつどい参加者より
4 雑収入	789	9	▲ 780	受取利子
5 繰越金	205,221	205,221	0	平成 28 年度分
合 計	1,907,010	1,946,230	39,220	

支出の部

項 目	29 年度予算額	29 年度決算額	増 減	摘 要
1 事業費	950,000	910,723	▲ 39,277	
1. 研修費	700,000	534,066	▲ 165,934	弁道会 随聞会 住職学研修等
2. 広報	250,000	376,657	126,657	会員名簿、会報(号外あり)、WEB 運営等
2 事務費	250,000	221,055	▲ 28,945	
1. 事務記録費	40,000	47,131	7,131	事務用品等
2. 通信費	130,000	117,836	▲ 12,164	郵送料(事業・活動案内発送)等
3. 交際費	60,000	50,000	▲ 10,000	祝賀等
4. 慶弔費	20,000	6,088	▲ 13,912	電報(祝電 4 件)
3 事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4 会議費	40,000	91,845	51,845	
1. 総会	20,000	40,000	20,000	総会会場使用料、総会補助
2. 役員会	20,000	51,845	31,845	執行部会、代議員会等
5 負担金	189,000	189,000	0	東北地協会費、全曹青会費
6 補助金	340,000	340,000	0	東北地協、東北大会、全曹青出向補助
7 積立金	50,000	20,000	▲ 30,000	東北地方集会準備金
8 予備費	48,010	0	▲ 48,010	
合 計	1,907,010	1,812,623	▲ 94,387	

東北地方集金「秋田大会」準備金 平成30年3月31日 現在

積立合計	2,623,000
------	-----------

尚、各項目間の流用を認めるものとする。

平成29年度 事業報告

日付	内容	場所	人数
平成29年			
4月14日	通常総会	秋田市 ビューホテル	44名
5月8日	東北地協 常任・定例幹事会	山形県山形市 山形国際ホテル	6名
5月11日	第1回 代議員会	秋田市 アルヴェ	30名
5月17日	全曹青 定期評議員会	曹洞宗宗務庁	3名
5月18日	全曹青 定期総会	曹洞宗宗務庁	3名
6月22日	第31回 弁道会 「出家を問う」～私にとっての出家とは何か その意味と意義を考える～ 曹洞宗総合研究センター専任研究員 宇野全智師	秋田市 禅センター	36名
7月31日	「曹青秋田」第83号発行		
8月2日	秋曹青会員名簿発刊		
8月2日	第2回 代議員会	秋田市 禅センター	22名
8月22日	東北地協 臨時・常任幹事会	宮城県 皆伝寺様	2名
10月4日	祈りのつどい 事前講習会 秋田グリーンケア研究会代表 涌井真弓氏	北秋田市 正法院様	18名
10月14日	第9回 祈りのつどい	北秋田市 正法院様	22名
10月14日	住職学研修 藤里町 月宗寺 袴田俊英老師	北秋田市 正法院様	22名
10月20日	「曹青秋田」臨時号発行		
10月30日	東北地協 常任幹事会	青森県八戸市 八戸グランドサンピア	2名
10月30日	東北地方集会「青森大会」	青森県八戸市 涼雲院様	14名
11月22日	全曹青 臨時評議員会	曹洞宗宗務庁	3名
12月13日	第3回 代議員会	鹿角市 龍門亭	17名
平成30年			
1月25日	第4回 代議員会	秋田市 にぎわい交流館AU	19名
2月22日	第35回 随聞会 「一日摂心会」～坐禅は出家の姿～ 曹洞宗国際センター所長 藤田一照老師	秋田市 禅センター	36名
2月27日	東北地協 常任幹事会	宮城県仙台市 亜門	2名
3月13日	第5回 代議員会	秋田市 禅センター	27名
3月30日	「曹青秋田」第84号発行		

は秋曹青主催事業

平成29年度 ボランティア活動報告

日付	内容	場所	人数
平成29年			
7月21日	九州北部豪雨災害被災地支援托鉢	大館市 鹿角市	合計25名
		横手市 湯沢市	
7月28日	秋田県豪雨災害復旧作業ボランティア 1	秋田市 普門院様	10名
8月2日	秋田県・九州北部 豪雨災害被災地支援托鉢	秋田市内	32名
8月4日	秋田県豪雨災害復旧作業ボランティア 2	大仙市内	10名
8月20日	秋田県豪雨災害復旧作業ボランティア 3	秋田市内	4名
9月1日	秋田県豪雨災害復旧作業ボランティア 4	秋田市内	4名
9月27日	秋田県豪雨災害復旧作業ボランティア 5	秋田市内	7名
12月21日	東北地協 薪配りボランティア	岩手県下閉伊郡 岩泉町内	2名
平成30年			
3月10日	東日本大震災慰霊復興祈願速夜法要	福島県伊達市 成林寺様	2名
3月11日	東日本大震災慰霊復興祈願法要	岩手県釜石市 常楽寺様	合計5名
		岩手県宮古市 常安寺様	
		岩手県山田町 龍泉寺様	

は秋曹青主催ボランティア活動

五月十八日秋田県大雨災害
支援活動報告

五月に秋田を襲った豪雨では、県内各地において大きな被害に見舞われ、このうち秋田市金足・下新城地区、湯上市などで、災害支援ボランティアが行われました。

五月二十一日から翌月十日にかけての計十回の活動、各所で社協職員さんや一般の方々と共に、個人宅の浸水した家具の撤去や泥掻き・清掃などの復旧作業にあたりました。

活動報告

副会長 赤石 基彦

五月三十一日、秋田市金足片田にて、床板の泥落としを中心としたボランティアに、会員十四名が参加しました。

朝、秋田市社協に集合した参加者は二十五人位おりました。活動は二班に分かれて行われ、我々が向かった活動場所には延べ十四名が派遣されました。

被災されたお宅は床上五十センチ位まで浸水されていました。災害当日は自宅の二階に避難されたそうです。

今回の活動は、今後自宅を修繕するうえで障害となる床板の泥落

として排出了。ブラシなどでかき出して排出了。

午後からは床下に潜り込んで床板裏側の泥落としをするグループと、それ以外の清掃作業をするグループに分かれて作業しました。全ての床板の裏側の泥落としまではできませんでしたが、終了時間まで皆さん埃だらけ泥だらけになりましたが活動に専念しておりました。

今回の秋田県大雨災害は、その被害規模から災害救助法の適用外とのことで、公的な被災者への支援は限定されているとのことです。ゴミ出し泥出し、その処分まですべて自力での復旧作業を余儀なくされている方も多くいらっしゃいます。

被災現場には、数字が合わずに支援から漏れた現実と、その対応への難しさが浮き彫りになっていました。

今後も床下の消毒など、復旧作業は長期にわたります。被災された方々の疲労が蓄積され、体調を崩されないか気になりました。



平成30年度 秋田県曹洞宗青年会 収支予算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

総収入	1,810,000
総支出	1,810,000
収支残高	0

収入の部

単位：円

項目	29年度予算額	30年度予算額	増減	摘要
1 会費	1,200,000	1,175,000	▲ 25,000	
1. 年会費	700,000	675,000	▲ 25,000	正会員 5,000×135名
2. 賛助会費	500,000	500,000	0	
2 補助金	500,000	500,000	0	曹洞宗秋田県宗務所
3 寄付金	1,000	1,000	0	
4 雑収入	789	393	▲ 396	受取利子等
5 繰越金	205,221	133,607	▲ 71,614	前年度繰越金
合計	1,907,010	1,810,000	▲ 97,010	

支出の部

項目	29年度予算額	30年度予算額	増減	摘要
1 事業費	950,000	1,070,000	120,000	
1. 研修費	700,000	820,000	120,000	弁道会、随問会、住職学研修 創立40周年記念大会補助等
2. 広報	250,000	250,000	0	会報、WEB運営等
2 事務費	250,000	225,000	▲ 25,000	
1. 事務記録費	40,000	40,000	0	事務用品等
2. 通信費	130,000	115,000	▲ 15,000	郵送料等
3. 交際費	60,000	50,000	▲ 10,000	祝賀等
4. 慶弔費	20,000	20,000	0	電報
3 事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4 会議費	40,000	65,000	25,000	
1. 総会	20,000	35,000	15,000	総会会場使用料、総会補助
2. 役員会	20,000	30,000	10,000	執行部会、代議員会等
5 負担金	189,000	190,000	1,000	東北地協会費、全曹青会費
6 補助金	340,000	200,000	▲ 140,000	出向補助等
7 積立金	50,000	0	▲ 50,000	東北地方集會準備金
8 予備費	48,010	20,000	▲ 28,010	
合計	1,907,010	1,810,000	▲ 97,010	

尚、各項目間の流用を認めるものとする。

平成30年度 事業・活動計画

日付	内容	場所	備考
平成30年			
4月3日	平成30年度通常総会	秋田市 キャッスルホテル	
5月7日	東北地協 常任・定例幹事会	山形市 山形国際ホテル	
5月18日	全曹青 定期評議会	曹洞宗檀信徒会館	
5月18日	全曹青 定期総会	曹洞宗檀信徒会館	
6月12日	第32回 弁道会	秋田市 禅センター	
8月1日~3日	こども自然ふれあい広場「こもれび教室」	鹿角市 他	
9月	祈りのつどい		
10月10日	秋曹青創立40周年記念大会	秋田市 キャッスルホテル	
11月12日	東北地方集会「山形大会」		
11月30日	全曹青 定期評議委員会		
平成31年			
2月	第36回 随聞会		
2月	東北地協 常任幹事会		

は秋曹青主催事業

※ボランティア活動・代議員会の開催・会報発行は随時行う

西日本豪雨 被災地支援托鉢

七月上旬の西日本豪雨災害における被災地支援のため、県内五か所で義援金托鉢を行いました。

【県央秋田地区】七月二十七日(金)

妙覚寺様へ秋田駅前にて・十二名参加

【県南横手地区】七月十八日(水)

横手市十文字町にて・四名参加

【県南湯沢地区】七月十八日(水)

湯沢市中部にて・六名参加

【県北鹿角地区】七月二十二日(日)

鹿角市内スーパー四店舗店頭にて・八名参加

【県北大館地区】七月二十二日(日)

大館市内いっとく大館

ショッピングセンターにて・五名参加

出発当初は強い日差しもありましたが、おおむね曇り空で夕方には風も出てきました。無事に托鉢を終えることができました。

「少ないけれど」

「あちらは大館よりずいぶん暑いようで、こっちで暑いなんて言ってもらえないわね」

「秋田も助けてもらったから、こんどは助けないと」

浄財を頂くたびに寄せられる言葉のひとつひとつから、皆さんの被災地に対する思いの強さを感じました。

(大佐賀正信師)

